

社会福祉法人 東京都社会福祉事業団
令和2年度定時評議員会議事録

- 1 招集年月日
令和2年7月22日（水曜日）
 - 2 開催日時
令和2年7月30日（木曜日）午前10時から午前11時48分まで
 - 3 開催場所
社会福祉法人東京都社会福祉事業団事務局第一会議室
 - 4 出席者
 - (1) 評議員総数 9名
出席評議員 7名
評議員 矢野 聡 評議員 平井 寛
評議員 山下 望 評議員 中島 隆
評議員 福島 民雄 評議員 高野 克己
評議員 藤井 麻里子
 - (2) 出席理事及び監事
理事長 池田 俊明 業務執行理事 渋谷 恵美
監事 久保 豊子 監事 齊藤 一紀
 - 5 議長
評議員 中島 隆
 - 6 議事録作成者
評議員 中島 隆
 - 7 議題
 - (1) 報告事項
ア 令和元年度事業報告について
イ 令和元年度決算について
ウ 日野療護園の改築について
エ 東京都石神井学園における事案報告について
- ※ 以下の「8 議事の経過の要領及びその結果」における発言者は「出席者」と表記している。（理事長、業務執行理事及び監事の職責としての発言をした場合の監事を除く。）
- 8 議事の経過の要領及びその結果
議題に沿って、以下のような意見交換が行われた。
 - (1) 報告事項
報告事項について、池田理事長、渋谷業務執行理事及び事務局が、あらか

じめ配付している「令和2年度定時評議員会報告事項」、「令和元年度事業報告書」、「令和元年度決算報告書」、「令和元年度決算説明用参考資料」及び「社会福祉充実残額の算定」により、説明を行った。以下の質問、意見等があった後、いずれも了承された。

- 出席者から、「障害児入所施設における年齢超過者の特例について、延長されてきたが2021年3月で終了するとされる中、どのように考えているか。」との質問があり、渋谷業務執行理事から、「現状、各園では、他県にあるグループホームなども含め、受入先探しに力を入れているが、苦勞している。2021年3月に向けた対応については、東京都や関係団体との連携が必要である。」と説明があった。
- 出席者から、説明のあった福祉以外の職種、看護師や心理士の確保策について質問があり、事務局から「看護師や心理士についても、募集要項を、事業団ホームページに掲載したり、養成施設へ送付したりするほか、求人情報誌や人材派遣会社の活用等、あらゆる手段を講じている。」と説明があった。
- 出席者から、日野療護園に関して、「開設当初の先駆性や地域移行の実績をはじめ、これまでに培ってきたもの、特に、重度身体障害者であっても利用者主体という理念を大切に、これから先を見据え、どのようなことを施設の目標とするのかしっかりと議論し、ハードに反映させていただきたい。今後も頑張っていたきたい。」との意見があった。渋谷業務執行理事から、「利用者の考えやニーズを踏まえた対応を第一に、また医療的なケアが必要な方に対応できるように、今後ソフト・ハード両面から具体化を図っていく。」と説明があった。
- 出席者から、「古い考え方では、障害施設は隔離といったマイナスのイメージがあるが、新しく建てられる施設では、相談事業や地域の人々との交流等を行い、新しい形の障害施設の見本を積極的に示していただきたい。」との意見があり、渋谷業務執行理事から、「移転先の市との調整を行っていること、通所事業の定員増や相談事業の実施を予定していることなど、引き続き地域のニーズに合わせた対応を考えていく。」と説明があった。池田理事長からは、「現在も、防災訓練を地域と合同で実施したり、園祭に地域の方が参加していただいたりしており、新しい施設でも、その地域の方に受け入れられる施設になるよう努力していく。」旨の説明があった。
- 出席者から、「児童へのケアをしっかりと行っていただきたい」との意見があり、渋谷業務執行理事から、「担当職員や心理士から、個別に丁寧なケアを実施している。」と説明があった。
- 出席者から、「トラブルを防止するためには、事業団として、確固たる決意を示した上で、対策を実践することが大事である。」との意見があり、池田理事長から、現在実施している対策等について、説明があった。
- 出席者から、「児童部会においても、今起きている問題の解決に向け、検討していきたいと考えている。」との発言があった。

以上、議長は議事がすべて終了した旨を告げ、午前11時48分に閉会した。